

磐城時報

編輯 石城郡平町新屋町十四番地 磐城時報社
印刷 石城郡平町新屋町十四番地 磐城時報社
電話 二二二番
代印 石城郡平町新屋町十四番地 磐城時報社
代印 石城郡平町新屋町十四番地 磐城時報社
代印 石城郡平町新屋町十四番地 磐城時報社

現在の状態が一年續けば 常磐炭礦は滅亡せん

販賣區域縮小し運賃は奔騰

さのふ經濟調査委員に陳情

政友會の經濟調査委員元田顯周を筆頭に瀧總務、八田代議士外六名の一行は八日仙臺市に乘込み東北六縣の事情を調査したが石城郡からは代議士木村清治、縣議鈴木辰三郎兩氏出席して、石城郡の死活問題となつてゐる炭礦方面の苦境を訴え、何とか打開策を講じて貰ひ度いと陳情した、陳情の内容は、

相馬支局通信

縣參歡迎會

本縣會參事會の出納検査は八日原町憲業取締支所、土木監督所、原町警察署、相馬支局等執行する爲め七日來原の一行を同日午後六時より原町驛前丸屋旅館にて官民合同の歡迎會を開催、出席者多く盛會であつた。

大慈山藥師祭禮

既報の如く七日(當祭)八日祭典執行した、相馬郡福浦村大慈山藥師祭禮者は好天に恵まれ其數實に二萬を稱せられ、名物念佛夜籠火の祭、盆踊及民謡大會等の余興に身動きもならぬ有様殊に昔の儘の札所詣りの姿春には負摺れ、手には技の善男善女參詣者數千人の揃ふた様は實に盛觀であつた、こゝに國寶記念大祭、大盛況の裡に終つた。

馬目、緑川兩町議が 第三校道路に横槍

既成の道路を完成して貰ひ度いと 立町區民二百余名が陳情

平町第三小學校正門に通ずる道土木委員會で決定し町當局では路は現在立町から同校正門西部縣當局から追加豫算の認可ありに通ずる一問半道路を工費八千次第平町會にかけかけて着工する豫圓を投じて三問半とする事に平定でゐた處、町會議員中馬目武

綿津見神社夏祭

相馬郡高平村上高井鎮座村社綿津見神社夏祭りは八日執行した郡石神村宇石神坂下農佐藤壽(が、七日の夜籠りに豊作人集(四九)は第二の丑で好天の上復盆踊りを舉行した、集まる男なしの七日、同郡眞野村島崎海水浴に出懸け數千人の出入と混雑自慢の連中、夜のふけるも知らず踊り過ぎた。

平消防組 實務演習

平消防組の體育演習は九日午前七時平町發徒歩で新舞子に至り海岸で舉行、終つて水戸屋支店で懇親會を催した。

白米値上げ

原町白速地引網を廻して搜索し同網の米小賣商にては七日又々一キロ爲め溺死體を發見した。

失職者の娘 井戸で死亡

石城郡湯本町上町佐藤直三郎の過般三井炭礦出水休山のため職を失ひ前住居所に移轉したものであるが、八日午前九時頃長女チヨ(四ツ)が洗濯してゐる女共と共に井戸端で遊んでゐるうち井戸の中轉落溺死を遂げた。

自轉車旅行の三君 更にコースを延長 九州一巡の上四國に渡る

品澤の藝妓と藤田校長 お手をつないだ一場面 新舞子海岸の情景



田卷、長瀬、綿引三君の自轉車旅行 第廿一信 山口縣にて

(前項の續き) 此の偉大な人と建築との市役所を去つて僕等は舊野原の泉邸を訪ねたその庭園の構造は支那の西湖の風景を模したのだと云ふが僕等にはさつぱり解らない、それよりは頭上を飛躍する陸軍の偵察機の方が位羨しいか知れない。直き近くに東練兵場がある云ふ。先ず練兵場に參詣して、僕等は其れをヤキッと讀んで笑はれた僕等は練兵場に向つた。

其處を僕等は野原と呼ぶその方がより好い感じがする廣野原の西面は騎兵第五聯隊の兵營だ、丁度今演習する騎兵隊が足並そろへて門を出やうとするところだ、サツと指揮刀が懐く、スマラミクニの勇壯なラッパが吹奏される健康な砂塵が立ち上る。左手の樹陰には眞然な砲兵隊と愛馬とが休んでゐる。波は静だが廣い、地肌を現はして黒く島々が沈んだやうに浮ん

明習はる子 眉間に重傷

平町字堂の前二〇明習はる子(二〇)は八日前十一時十一分平驛發列車で仙臺に赴く途中双葉郡夜の森、大野間で同郡熊町村の子供等が列車に投石したものがあつたため窓硝を破り眉間に重傷を負ふた。

竹の湯にお灸

南町本間三郎(二二)は同町で竹の湯を經營してゐるが、使用人柴野忠直をして時間外午前一時半まで營業をなした事發覺九日平署で處罰された。

秋立

メツキリ涼しくなる
小名濱測候所談

秋立つ。土用明けの平地方は前日までの灼きつくやうな炎暑も消ぬ。北極から海を渡つて吹いて来るやうな涼風が浴衣着の肌を撫で殺人温度になやまされてゐた町民も漸くホッと息づいた。同日午後三時の気温は華氏七十五度五分(攝氏二十四度五分)前日の同時刻の九十五度七分から一躍二十度の低下振り、夏から秋へ。つくづく法師も鳴き初め、これからは朝夕は滅切り涼しくなり、日晝の暑さも六日の九十五度七分が頂上で漸時下り坂となるだらう。小名濱測候所では「昨夜まで氣壓の配置も夏の状態であり、高氣壓の獨り占めで小笠原諸島、北海道上空に盛んに精力を張つてゐましたが、立秋の聲と共に急遽として消滅し、それと共にボツカリ颱風が現れ、北に進んでゐるから明日あたりから再びシノウ雨模様となりませう。

平第一校 臨海學校通信

(第五信)

(八月七日) 疲れが出て来ました。五日目です。出漕り勝ちの朝の體操も、あの廣い碧い大海原が目に入つて来て、いひ知れぬ元氣が出て来た。快な気分になります。今朝も體操が終つての海岸散歩の頃は先づ元氣でした。「先生、今朝はねくよくよく眼が開けなかつた。」「寒くないから直ぐ海に入りませう。」「朝の中は寒くて駄目なの?」「ガツカリしたナ。」「...」

新舞子寸信

飯村生俗塵を蹴つて自動車でドライブ(走路)すること約十五分吾がユートピア(理想郷)新舞子に來滴、バラツクの茶屋に憩ひ、盟友Mと打寛ろぎ。白砂青松の勝景に感嘆、思はず跳足にて漫歩を試み、若き男女の喃語を隠見し、護岸に蟹の躊躇逡巡の逃避を見る、實に悦樂を感ず。

平町人事

出生 南町雜貨商大谷直次郎五女瑛子。
死亡 仲間町佐藤春吉(夫)

共栄ト存共△
融至ノ易簡△
蓄貯ノ味趣△
堅ト意誠△
會商無城

葵

花物
五色物
安く譲ります
平町新川町(郵便局裏)
中野勇吉
電話一三三番

慢性萬病治療院開始

弊院實驗所は醫藥無効不治の病としての中風、癌、肺結核、癩病、其他の難病、病名病原不名病ですら、めきくご快復します。但し治療中効能あらはれざる中は無料。一般難病者來り試みられよ。

萬病 高速復式療法

福島縣平實驗所
回春堂療院
福島縣平町仲町八番地

銘品 景品付賣出

東京日本橋 白木屋 粧化石 驗
昭和五年十月卅一日迄
一升瓶詰(二四〇〇) 一本毎に一個宛進呈
◎空瓶は一本二十錢に御引受け致します

市販賣店 平町新川町 谷川 商店
同 材木町 緑川 商店
同 長崎町橋際 小野 商店

平町以外各町村一店宛特約販賣の求めに應ず

發賣元 平町田町 永山酒店
電話二〇七番

愈々海水浴のシーズンは來ました

皆さん
是非...四倉脱衣所組合へ
本年は不況の折柄特に
平町 自動車往復...食券付
四倉間 一枚 金九十五錢
但し團體の際は特に御相談に應じます
期間...七月十日ヨリ...九月十日マデ
申込所 平町田町 初音
電話二三六番

団体には銀バスを!!

そしてタクシーとトラツクは?
是非料金底廉の
マツザキタクシー

電話は...四四九
獅子吼

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

ラヂウム温灸器

胃腸病の必治法
一貫や三貫らくく 肥る世界的健康法

福島縣平町五丁目二八
志賀齒科醫院
福島縣平町白銀町九
關口悦子

麻雀俱樂部開設

東洋趣味の粹として近代日本を壓倒してゐる麻雀の俱樂部が平町に生れました。支那の本場を想はしめる高雅な設備一切を整ひ三日早朝より開店し皆様の御出を御待ちしてゐます。麻雀を知らないは現代人の大なる恥である。云はれてゐる折柄是非御遊びにお出で下さるやうお願いいたします。

初めての方や御婦人方には可憐に御教へ致します。

平驛前(實川醫院裏)
平麻雀俱樂部

中野勇吉

電話一三三番